

## 5・3 港湾整備関係

### 5・3・1 交通政策審議会港湾分科会

交通政策審議会港湾分科会(第52～55回)に於いて、主として全国の港湾計画についての報告及び審議が為された。第52回においては港湾法の一部改正についての説明と報告、第53回においては東日本大震災を踏まえた防災・減災対策についての報告と国際バルク戦略港湾について、また第54回では博多港他の港湾計画の一部変更が審議された。第55回においては港湾施設の維持管理・更新に関する取り組みについてと資源・エネルギー等の安定的かつ安価な輸入の実現に向けた効率的な海上輸送網の形成(国際バルク戦略港湾における取組)についての報告に加え稚内港他の港湾計画の改訂や一部変更などが審議された。

当協会からは港湾物流専門委員会委員長が委員として参画し、港湾利用者の立場から意見の反映を行った。

### 5・3・2 港湾施設の出入管理システムの高度化

国土交通省は平成 24(2012)年 1 月に、同年 7 月 1 日から完全実施を目指していた「100%の三点確認(本人・所属・目的)」を、諸般の事情により 1 年延長し、平成 25(2013)年 7 月 1 日からとすとしていたが更に1年延長していた。

平成 25(2013)年 1 月になり、機能を縮小した簡易型 PS カードリーダーを提案し、東京港もこれを受け入れた。

国土交通省は習熟期間として義務付けはしないとして、平成 26(2014)年 7 月 1 日からの三点確認実施の開始を提案した。

当協会からは、PS カードの 100%に限りなく近い普及実現と、筐体設置料、システム利用料、人件費等のコスト負担増を国負担とするよう繰り返し要望を続けた。